

病院名	県立柿崎病院	対象年度	令和4年度	作成者	院長 太田求磨									
病院局理念	医療制度改革等、社会の変化を踏まえ、良質な医療サービスの提供と効率的な病院経営を行い、県民の安全と安心に寄与します													
病院理念	患者さんの立場に立った良質な医療を提供し、地域住民の健康維持・増進に貢献します													
中期目標	1;プライマリケア、軽症・中等症の救急医療、リハビリを提供し、地域に愛される病院を目指します。 2;診療の質を向上させ、医療安全、院内感染対策に努めます。 3;地域で安心して過ごせるよう、地域連携、在宅医療を推進し、地域包括ケアシステムの構築に貢献します。 4;健康づくりに役立つ、ヘルスプロモーション活動を展開します。 5;職員の笑顔・元気・やりがいを大切にします。													
今年度の目標	1;地域包括ケア病床の効率的運用、2;病床利用率70%以上、3;在院日数の短縮(20日以内)、4;病院・介護施設連携の推進、5;在宅医療部門の活性化、6;地域講演会、院内健康教室活動の継続、7;地域住民との交流と地域貢献、8;やりがいのある仕事と自己研鑽													
区分	戦略マップ	戦略目標	主な成果(重要成功要因)	業績評価指標	R03年目標値	R03実績(12月末)	評価	R04年目標値	R05年目標値	具体的なアクションプラン	達成年月	取組み部門		
財務の視点		医療収益の増加	医療収益性の確保	入院患者数 外来患者数 入院患者一人1日単価 外来患者一人1日単価(内科、外科) 外来患者一人1日単価 リハビリ 提供件数 地域包括ケア病床利用率 経費削減 後発医薬品導入率 医療収支比率 経常収支比率 病床利用率の維持 平均在院日数の短縮 超過勤務短縮	入院患者数 外来患者数 入院患者一人1日単価 外来患者一人1日単価(内科、外科) 外来患者一人1日単価 リハビリ 提供件数 地域包括ケア病床利用率 後発医薬品導入率 医療収支比率 経常収支比率 病床利用率 平均在院日数 月間超過勤務時間	15,000人(利用率75%) 30,000人(1日125人) 28,500円 10,000円/3,500円 7,300円 13単位/人/日以上 90% 85%以上 70%以上 100%以上 75%以上 20日以内 対前年比の3%削減	10,502人(利用率69.4%) 20,007人(1日109.3人) 28,726円 10,267円/3,377円 7,497円 12.9単位/人/日 93.1% 95.0% 67.6% 68.9%(繰入前) 69.4% 18.5日 対前年比の33.1%増加	△ △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○ △ ○ ×	14,000人(利用率70%) 25,000人(1日105人) 28,500円 10,000円/3,500円 7,300円 13単位/人/日以上 90% 85%以上 70%以上 100%以上 70%以上 20日以内 対前年比の3%削減	14,000人 25,000人 28,500円 10,000円/3,500円 7,300円 13単位/人/日以上 90% 85%以上 70%以上 100%以上 70%以上 20日以内 対前年比の3%削減	患者サポートセンターを通じた患者紹介促進 診療報酬算定増収項目の取り組み 地域包括ケア、疾患別リハビリの充実 地域包括ケア病床の効率的運用 品目ベースでの積極的導入 経費削減、省エネ対策、診療材料等の廉価購入 地域包括ケア病床など効率的なベッドコントロール 入院患者の確保・維持 10:1算定継続のため注視 36協定遵守努力、事前命令励行、業務標準化		各部門 各部門 リハビリ 病棟 薬剤部 管理部 医局、病棟 医事 各部門	
顧客の視点			患者満足度の向上	総合的 patient 満足度の向上	患者満足度調査における満足度、信頼度 苦情件数	患者満足度調査における満足度、信頼度 苦情件数	80%以上 月2件以内	— 月1.0件	— ○	80%以上 月2件以内	80%以上 月2件以内	アンケート調査の活用 病院内の療養環境整備、居心地よい雰囲気づくり職員接客向上		接遇委員会 接遇委員会
地域連携の推進			地域連携の推進	外来待ち時間の改善	最大外来待ち時間(新患・再来・予約)	最大外来待ち時間(新患・再来・予約)	各1時間以内	60分	○	各1時間以内	各1時間以内	外来待ち時間調査継続、待ち時間対策の継続		医事
人間ドック事業の維持			人間ドック事業の維持	病診・病病連携、施設との連携	紹介率 他病院からの紹介患者数 特養、老健からの紹介患者数 新患・患者数	紹介率 他病院からの紹介患者数 特養、老健からの紹介患者数 新患・患者数	15% 250件/年 40件/年 280人/月	23.2% 325件 103件 257人/月	○ ○ ○ △	15% 250件/年 40件/年 250人/月	15% 250件/年 40件/年 250人/月	患者サポートセンターを通じた患者紹介促進 患者サポートセンターを通じた患者紹介促進 介護施設との情報交換・連携促進 患者サポートセンターを通じた患者紹介促進 ボランティア募集(病院だより広報)	平成21年3月	患者サポートセンター 患者サポートセンター 特養・病院連携会議 患者サポートセンター 接遇委員会
健康講座の開催			健康講座の開催	開かれた病院づくり	ボランティア受け入れ	ボランティア受け入れ数	3人以上	—	—	3人以上	3人以上	広報		医事
在宅医療の推進			在宅医療の推進	病院認知度の高まり	健康講座の開催	参加者数	150人	—	—	150人	150人	地域講演会、健康教室等の開催		健康教室担当者
在宅医療の推進			在宅医療の推進	在宅医療の推進	訪問診療・訪問看護等の展開	訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ件数	240人/300人170人	184人/329人/150人	○	240人/300人170人	240人/300人170人	訪問回数枠の拡大		訪問看護師
情報発信			情報発信	病院だより発行	病院だより発行数	病院だより発行数	3刊	2刊	○	3刊	3刊	病院情報の発信	平成20年度～	管理部
医療安全の向上			医療安全の向上	医療事故件数ゼロ	医療事故件数(レベル4以上) ヒアリハット	医療事故件数(レベル4以上) ヒアリハット	0件 30件/月以内	0件 19.8件/月	○ ○	0件 30件/月以内	0件 30件/月以内	医療安全推進委員会活動、学習会開催		医療安全委員会
院内感染対策推進			院内感染対策推進	院内感染対策推進	院内感染の防止	院内感染症の発症の有無と頻度(アウトブレイク)	なし	なし	○	なし	なし	院内感染対策委員会活動、学習会開催		院内感染対策委員会
診療録管理・医事機能	診療録管理・医事機能		診療録管理・医事機能	レセプト返戻率	レセプト返戻率	件数0.20%、点数1.00%	件数0.17%、点数0.56%	○	件数0.20%、点数1.00%	件数0.20%、点数1.00%	毎月実績の検証と対策検討、勉強会		診療報酬向上委員会	
医師確保	医師確保	医師確保	医師充足 診療科の維持(地域ニーズへの対応)	医師充足率 外来診療科の維持(眼科、皮膚科、整形外科)	90%以上 80%以上	100% 164%	○ ○	90%以上 80%以上	90%以上 80%以上	サマリ作成状況の点検、医療クラークの活用 医師確保活動		医事 院長、病院局		
医療の質の向上	医療の質の向上	医療の質の向上	クリニカルパスの利用 新潟大学との連携(教育プログラム)	クリニカルパス使用症例の増加 テレビ会議利用回数	月3例以上 年12回以上	月1.3例 —	× —	月3例以上 年12回以上	月3例以上 年12回以上	新大医局へ後援会と招聘要請 CPの作成と運用の促進		院長、病院局 地域連携バス委員会		
学習と成長の視点		職員の知識・技術の向上	教育研修の充実	院内研修会開催回数 全国自治体病院学会等での発表	院内研修会開催回数 全国自治体病院学会等での発表	年12回以上 1演題以上	12回 1演題	○ ○	年12回以上 1演題以上	年12回以上 1演題以上	すいすい学習会の開催 臨床研修費の病院枠執行計画		教育研修委員会 各部門	
認定資格者養成		認定資格者養成	専門医・指導医数 その他の各種認定資格の取得数	専門医・指導医数 その他の各種認定資格の取得数、維持数	1人以上 1人以上	2人 1人	○ ○	1人以上 1人以上	1人以上 1人以上	計画的人材育成(経験年数が必要) 研修受講予定表の作成		医局 各部門		
職員のモチベーションの向上		職員のモチベーションの向上	職員のモチベーションの向上(正規職員) 職員のモチベーションの向上(非常勤職員)	職員満足度の向上(正規職員) 自己評価と管理部で状況把握	職員満足度の向上(正規職員) 自己評価と管理部で状況把握	80%以上 70%以上	— —	— —	80%以上 70%以上	80%以上 70%以上	人材育成型評価の実施(正規職員) BSCに対する自己取組・評価実施(非常勤職員)		管理部 管理部	